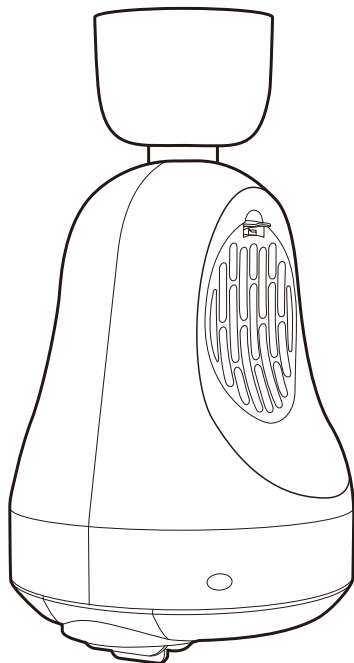


取扱説明書・保証書



《DSLH60HC》

このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。正しくご使用いただくために必ずこの取扱説明書をよくお読みください。なお、お読みになられたあと、もいつでも見られるように大切に保存してください。

も く じ

安全上のご注意	P.1~P.2
各部の名称とはたらき	P.3
使用前の準備	P.4
設置	P.5~P.6
正しい使いかた	P.7~P.9
お手入れと保存	P.10~P.11
修理・サービスを依頼する前に	P.12
アフターサービスについて	裏表紙
保証書	裏表紙

**【要確認】取り付ける配線器具・
壁スイッチは、必ず定格6A以上の
アンペア
ものを使用してください**

仕 様



品 名	サーキュライト ホット&ブロアー 引掛シーリングモデル		
型 名	DSLH60HC		
電 源	AC100V 50/60Hz		
外 形 寸 法	(約) φ140 mm × 240 mm		
本 体 質 量	約750 g		
付 属 品	リモコン×1、リモコン用単4形乾電池(お試し用)×2、リモコンケース×1、取り付け用ネジ×2、シーリングカバー×1 (凸・凹一組:DSLH60HCのみ)、取扱説明書・保証書		
共 通			
LED部		ホット&ブロアー部	
定格消費電力	約10W (強時)	定格消費電力	(ヒーター)約500W
機 能	LED2段階調光、調色3色 (電球色・昼白色・昼光色)	機 能	ヒーター/送風 風量切替3段階調節
器具光束	約810Lm (ルーメン) (強時)		
推奨使用周囲温度	5~30℃		

- LED光源など部品の交換は出来ません。
- LED光源にはバラツキがあるため、同じ型名の製品であっても発光色、明るさが異なる場合がございますのでご了承ください。
- 仕様などは改善・改良のため、予告なく変更することがあります。
- 本製品を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。
(This unit can not be used in foreign countries as designed for Japan only.)
- 取扱説明書に使用されているイラストと実際の製品は一部異なる場合があります。



W1209A

安全上のご注意












- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに、必ず保存してください。

 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示します。 (物的損害とは、家屋・家財・家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を示します。)





図記号の意味と例

	❯は、「してはいけないこと」を意味しています。具体的な禁止内容は、❯の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「分解禁止」を示します。)
	●は「必ずすること」を意味しています。具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を示します。)

警告

 禁止	交流100V以外では使用しない。 直流電源では使用しないでください。 破損・発煙・火災・感電の原因になります。	 禁止	子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところでは使わない。 けが・感電の原因になります。	 分解禁止	分解しない。また、修理技術者以外の人は修理しない。 火災・感電・けがの原因になります。 修理は販売店にご相談ください。
	本体のすき間にピンや針金、金属物などの、異物を入れない。 感電・けがの原因になります。	 禁止	業務用として使用しない。不特定多数の人が使う場所での使用しない。	 ぬれ手禁止	ぬれた手で、本体・口金部分の抜き差ししない。 感電の原因になります。
	取り付けできない配線器具には無理に取り付けない。 (取り付けできない配線器具) ・電源端子が露出しているもの ・破損しているもの ・取り付けが不十分でグラグラするもの ・定格6Aに満たないもの 火災・感電・落下してけがの原因になります。	 使用禁止	以下のような異常時は、すぐに使用を中止し、電源を切る。取付器具から取りはずして(やけどに注意)修理を依頼する。 ・煙が出る。 ・こげ臭い ・吹出口から本体の中をのぞくと真っ赤になっていて煙が出ている。 ・風が出ない/時々風が出ない。 ・異音がる。	 水ぬれ禁止	水につけたり、水をかけたりしてぬらさない。 ショート・感電の原因になります。
	屋内専用なので、屋外では使用しない。 器具周囲温度5～30℃の範囲内で使用してください。 火災・感電の原因になります。	 禁止 (DSLH60HC)	取り付け・取りはずしをするときは必ず電源を切つて行なう。 けが・故障の原因になります。	 禁止 (DSLH60HC)	調光機能付の器具での使用をしていない。 破損・発煙の原因になります。
	本体に布や紙をかけた、おおったり、熱のこもる使いかた、燃えやすいものを近づけたりしない。 火災・故障の原因になります。		リモコン用の電池からもれた液が目に入ったときは、こすらずに水で洗い流し、医師の診察を受ける。 失明や目に障害を負う原因になります。		配線器具が傷んだり、差し込みがゆるいときは使用しない。 感電・ショート・発火の原因になります。
	ストープなど温度の高くなるものを近く・真下に置かない。 火災・故障の原因になります。		調光機能のついた電源(壁スイッチなど)は使用することができないので、電気工事士資格取得者に交換工事を依頼する。 そのまま使用すると火災・故障の原因になります。 工事は販売店・工事店などに相談してください。		引掛シーリングにホコリが付着している場合はふきとる。 ホコリが付着したまま差し込むと、ショート・火災の原因になります。
	引火性のあるもの、燃えやすいもの、スプレー缶などを近く・真下に置かない。整髪料、ヘアスプレー等の引火性があるものを近くで使用しない。 火災・爆発の原因になります。	 指示	吹出口に火花が見えたら、使用を中止し、お手入れをする。 火災・やけどの原因になります。	 指示 (DSLH60HC)	
	湿度の多い風呂場などでは使用しない。水滴がかかる場所では使用しない。※防水仕様ではありません。 感電・火災の原因になります。	 指示			
	フィルターを取り付けずに運転をしない。 火災の原因になります。				

注意

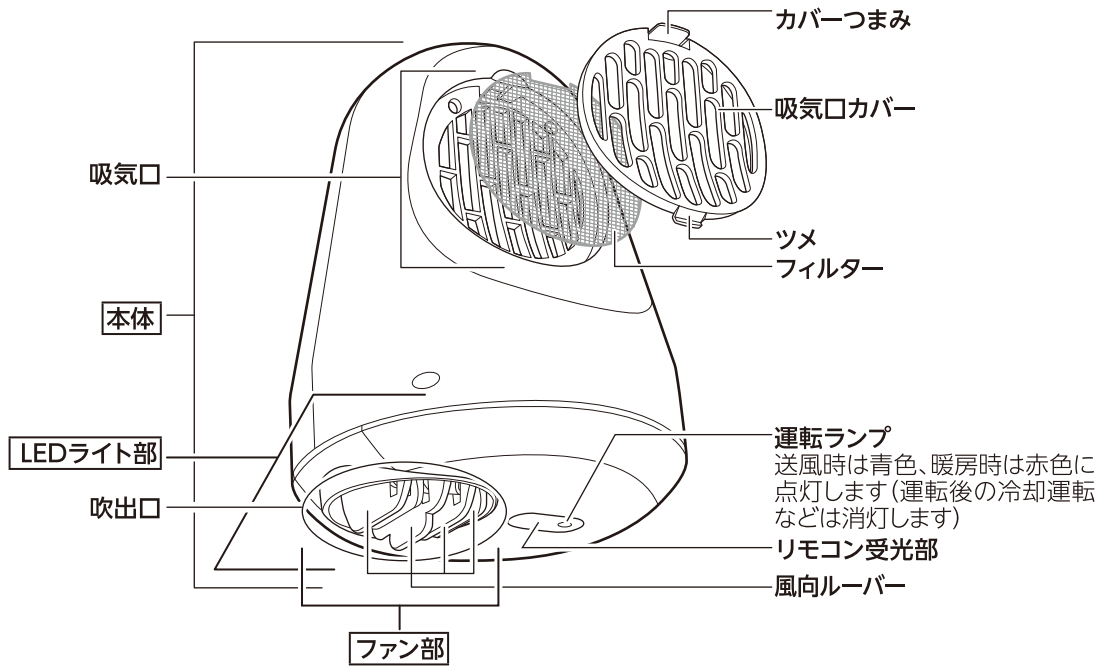
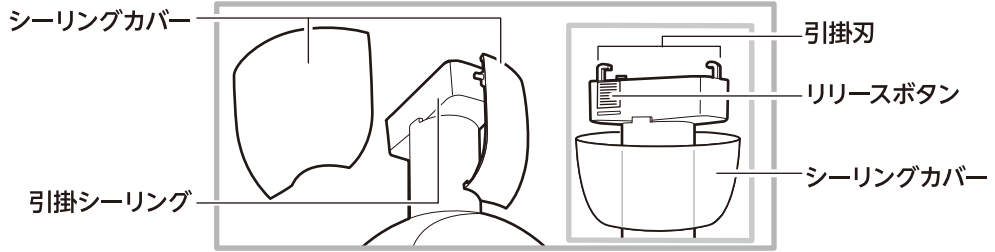
 <p>指示</p>	<p>器具で指定されたワット数などを守り、確実にソケットに取り付ける。熱を持ったり、故障、落下の原因になります。</p>	 <p>禁止</p>	<p>リモコンの電池は直射日光のあたる場所など高温になる場所に置かない。液もれや破裂、火災などの原因になります。</p>	 <p>禁止</p>	<p>次のようなところでは使わない。 ●レンジなど炎の近く ●引火性のガスがあるところ ●雨や水しぶきがかかるところ 変色・変形・炎の立ち消え・火災・感電の原因になることがあります。</p>
	<p>被照射物との距離は1m以上あける。色あせ・変色の原因になります。</p>		<p>ものをぶつけたり、衝撃を与えない。変形、故障の原因になります。</p>		<p>お手入れの際は住宅用洗剤・シンナー・ベンジン・アルコール・磨き粉などを使わない。変色・変形・感電・故障の原因になります。</p>
	<p>使用場所によっては、天井や壁紙などに悪影響を与えるので注意する。連続照射・連続する風の流れの影響を考慮して設置してください。</p>		<p>点灯中や点灯直後は熱くなっているため、器具に触れない。やけどの原因になります。</p>		<p>油煙が発生する場所に設置しない。油煙によって樹脂の劣化・変色・変形・ひび割れを起こし、破損・故障の原因になります。</p>
	<p>設置して長時間使用すると、外部に異常がなくても内部の劣化は進行するので、点検する。 点検せずに使用を続けると、火災、落下による感電、けがの原因になります。</p>		<p>本製品の一部分が破損した場合そのまま使用を続けず、また破損した部分に直接触れたりしない。けが・やけど、落下の原因になります。</p>		<p>風の通りの悪い密閉型器具に取り付けられない。風が十分に送られず、熱がこもり、故障の原因になります。</p>
	<p>リモコンの電池は⊕⊖を正しく入れる。間違えて入れると、故障するだけでなく、液もれや、破裂の原因になります。</p>		<p>ラジオやテレビなどの音響機器・映像機器を近くで使用しない。雑音の原因になることがあります。使用する場合はできるだけ離して使用するようしてください。</p>		<p>開放型器具・密閉型器具に絶対に取り付けられない。本機の引掛シーリングにはロック機能があるため、取りはずしができなくなることがあります。</p>
	<p>長期間使用しないときは、リモコンの電池を抜く。長期間入れたままにしておくと、液もれによって内部を汚したり、破裂による火災やけがの原因になります。</p>		<p>本来の使用方法以外で使用しない。整髪や乾燥、ペットへの使用など、照明・簡易型暖房機として使用以外の使用をしないでください。</p>		
<p>風向ルーバー部分の間に指などをはさまないように注意する。けがや骨折、破損の原因になります。</p>	<p>LEDの光を直視しない。けがの原因になります。</p>				
 <p>禁止</p>	<p>リモコンの電池は指定以外の電池を使用しない。液もれなどの原因になります。</p>	<p>吹出口まわりは熱くなるので、触れない。やけどの原因になります。</p>			

使用する前に／ご使用上の注意

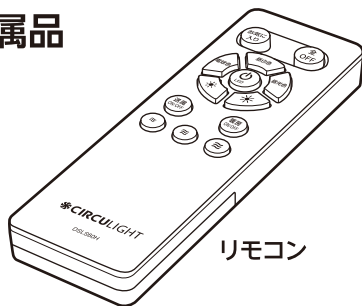
- 以下の器具には絶対に使用しないでください。
 - ・調光のついた照明器具や回路。【調光:照明の明るさを変える機能】(製品が故障したりチラツいたりする場合があります)100%点灯でも使用不可。
 - ・誘導灯・非常用照明器具。
 - ・屋外用器具。
 - ・水銀灯、ナトリウムランプ、メタルハライドランプなどのHIDランプ器具。
 - ・風呂場などの湿気が多い場所、水滴などがかかる場所。
 - ・取付ける配線照明器具と壁スイッチが、定格電流6A(アンペア)以上であることを、必ず確認してください。6A(アンペア)未満の場合は火災の原因になり危険ですので、取付けできません。
 - ・このほかの使用器具の種類によって寸法的、熱的、その他の状況により使用できない場合があります。
- 本製品を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。(This unit can not be used in foreign countries as designed for Japan only.)
- 本製品の周囲温度が30℃を越える場所では使用しないでください(推奨使用周囲温度は5~30℃です)。
- 酸、硫黄などの腐食性雰囲気(温泉地など)のところでは一般器具によるランプ(本製品)の使用はしないでください(漏電・落下・口金腐食の原因)。
- 直流電源では絶対に使用しないでください(AC100V、周波数50Hz、60Hz以外の電源では使用しないでください)。
- 赤外線リモコンを採用した機器(テレビやエアコンなど)の近くで点灯すると、リモコンが誤作動することがあります。
- 人感スイッチなどの自動点滅装置や遅れ停止スイッチなどには使用できません。
- 密閉器具には対応不可です。
- 水洗いや分解、改造はしないでください。LED光源のみの交換はできません。
- LEDライト部を直視しないでください。目に悪影響を及ぼす原因になります。
- LED光源にはバツキがあるため、同じ型名の製品であっても発光色、明るさが異なる場合がありますのでご了承ください。
- 暖房運転使用時の周囲温度によっては、安全装置により、動作が停止することがあります。

各部の名称とはたらき

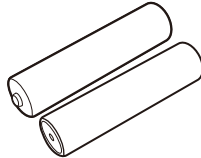
DSLH60HC



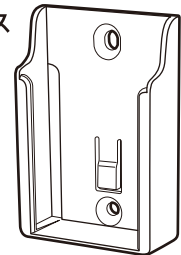
付属品



リモコン用単4形乾電池
(お試し用) × 2



リモコンケース



取付ネジ×2



使用前の準備

梱包部品一覧

お買い上げ後、同梱の部品を確認してください。

本体.....	1個	シーリングカバー(半分ずつ2個).....	1個
リモコン.....	1個	(引掛シーリングモデルのみ)	
リモコンケース(取り付けネジ付属).....	1個	取扱説明書(保証書含む).....	1部
リモコン用単4形乾電池(お試用).....	2個		

リモコンの乾電池の取り付け

使用開始するとき、リモコンに電池を取り付けてください。またリモコンの電池が消耗したときは、以下の方法で電池を交換してください。

1. リモコンの電池ケースのふたを引き出す

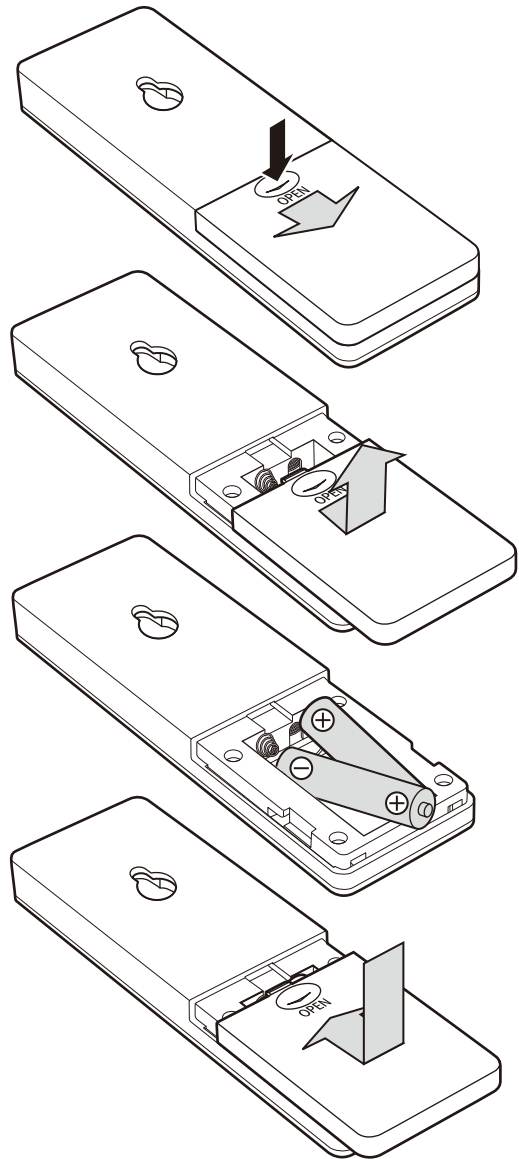
リモコンの裏、電池ケースにある「OPEN」部分を強く押して引き出してください。

2. 電池の向き(⊕⊖)に注意して新しい電池を電池ケースに入れる

- 電池交換する場合は古い電池を取り出します。
- 先に電池の⊖側を電池ケースのバネ側に入れてから、⊕側を入れてください。
- 取りはずした古い電池は、危険ですので、お子様の手の届く場所には保存しないでください。
- 取りはずした古い電池は、お住まいの自治体の指示に従って適切に処分してください。

3. 電池ケースのふたを本体に差し込む

右図のように、電池ケースのふたを電池ケースの途中に置き、電池ケースのふたをすべらせて取り付けてください。



⚠注意

- 長時間使わないときは、電池を取りはずす。
- 電池の破裂や液もれを防ぐため、⊕⊖を正しく入れる。
- 電池の充電・ショート・分解・火への投入・加熱などはしない。
- 万一、液もれが起こったときは、よく拭き取ってから新しい電池を入れる。
- 電池を子供が飲み込んだりしないように必ず電池ケースに取り付ける。

使用可能範囲

- 本体LEDライト部から直線で約3m以内
 - 本体LEDライト部正面から左右に約30度以内
- ※リモコンと本体LEDライト部(リモコン受光部)の間に障害物があると、リモコンが正常に動作しないことがあります。

設置

DSLH60HC(引掛シーリングモデル)の設置

取り付け環境の確認

本製品は以下のような場所に設置することができません。

周りの環境

- ・湿度の高い場所 水がかかる場所 結露の発生する場所
- ・直射日光のあたる場所 火や熱源に近いところ
- ・取り付け面が傾いている・水平ではないところ(水平な取り付け面に垂直に取り付ける必要があります)
- ・リモコン発信場所から3m以上ある場所 正しく操作できません。

取り付け器具まわりの環境

- ・配線器具以外の取り付け器具 ・密閉器具内
- ・断熱材施工器具 ・ペンダントソケット

電源環境

- ・壁のスイッチが調光機能付のもの(100%のまま入切でも不可)。(販売店・工事店に相談ください)

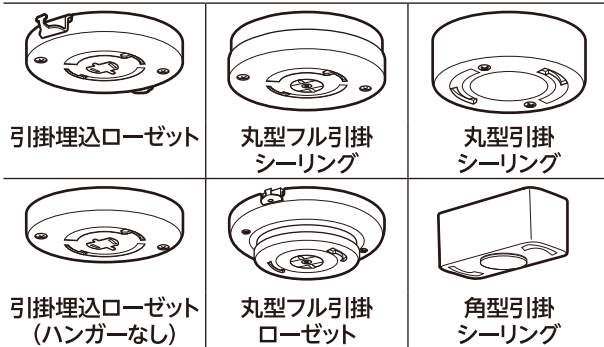


警告

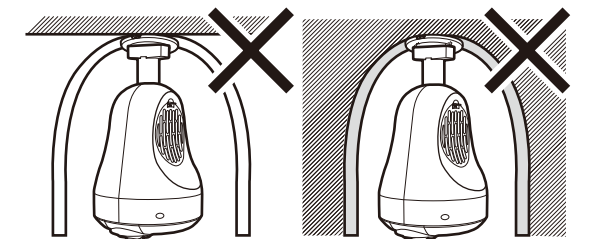
取り付ける配線器具と壁スイッチが定格電流6A(アンペア)以上であることを必ず確認してください。不明な場合、電気工事業者に相談してください。

ご利用可能な配線器具の例

必ず工事業者が施工した配線器具で下向きになるようにご使用ください。



ご利用不可能な配線器具の例



・下向きの開放型器具に取り付けることはできません。

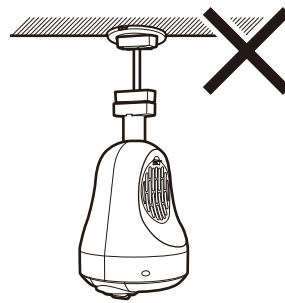
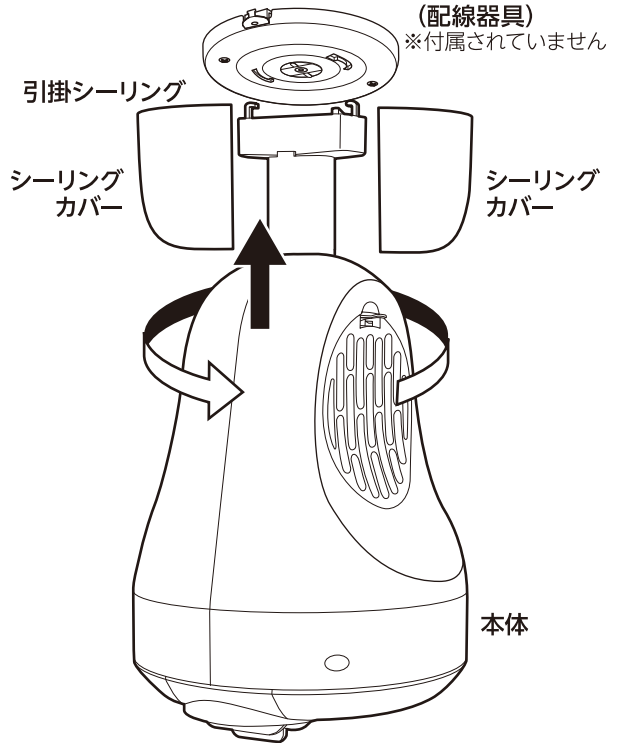
・密閉型器具、密閉型に近い器具、断熱材施工器具は使用できません。



注意

開放型器具・密閉型器具には、絶対に取り付けられない。引掛シーリングにロック機能があるため、取りはずしができなくなることがあります。

天井に固定された配線器具をご使用ください。



ペンダントソケットは、運転中に動いたりすると危険ですので使用できません。また、使用器具の種類によっては取り付けできない場合があります。

配線器具への取り付け

本体

本体を右(時計方向)に回して、本体先端の「引掛シーリング」を、天井の配線器具へ取り付けてください。

- ・強く回しすぎると配線器具の破損の原因になります。
- ・この場合、右回転させて回らなくなったら回転をやめてください。配線器具の破損の原因になります。

※ 回す方向は、下のLED側から見た方向です。

シーリングカバー

本体を配線器具へ取り付けたあと、シーリングカバー(半分ずつ)を本体上部で組み合わせ、上に押し上げ、丸形・角型配線器具が隠れる位置で固定してください。

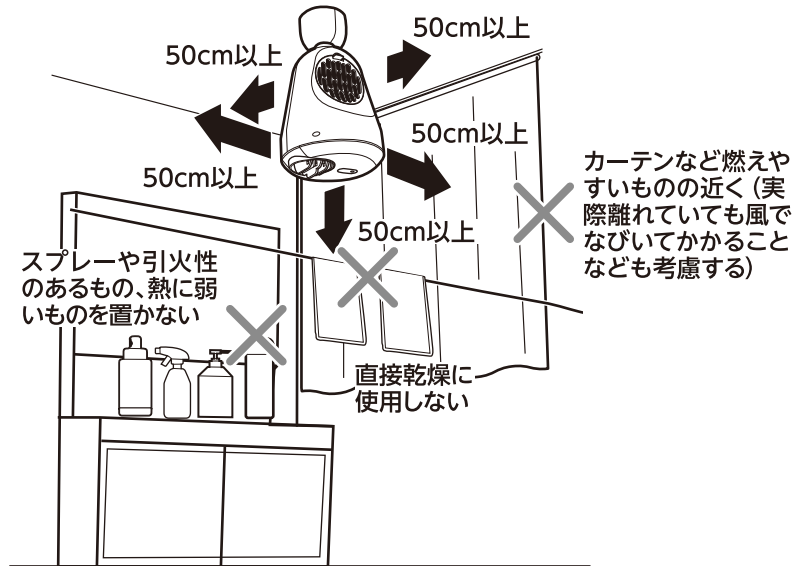


注意

引掛ローゼットなどの大型配線器具の場合、シーリングカバーで全体を覆うことはできません。

設置 (つづき)

本製品は壁や周囲から適切な距離を保ってください



本製品の設置は以下の点に注意してください。

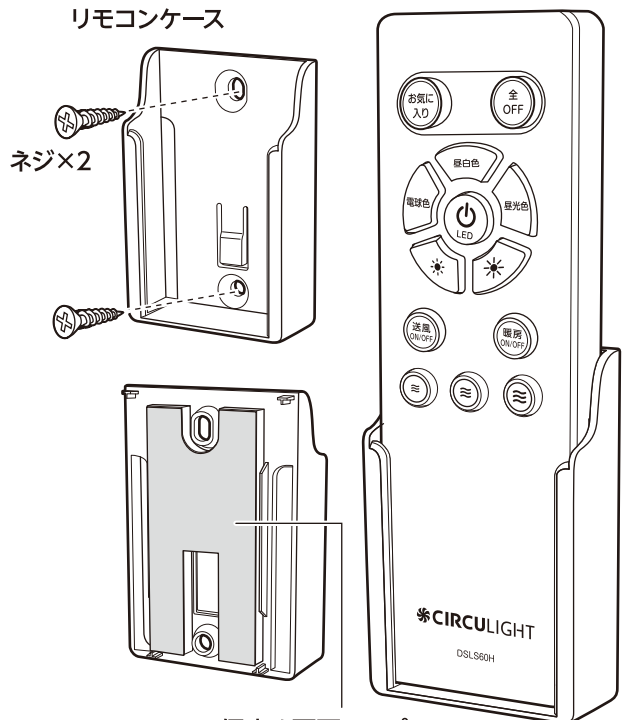
- 本製品は壁、寝具、カーテン、家具などから50cm以上離して設置してください。
- 本製品の下に熱に弱いものや引火性・揮発性のある製品、スプレー缶などを置かないでください。
- 壁、寝具、カーテン、家具、ガラスから距離を置いてください。引火や熱による変形・変色の原因になります。

- 書類関係は火事の原因になりますので近くに置かないでください。また消せるボールペンで作成したもの、サーマル紙に印刷されたレシートなど消えて読めなくなることがあります。
- 本製品の近くには携帯電話、パソコンなど熱に弱い電子機器・精密機器は絶対に置かないでください。

リモコンケースを設置する

付属のリモコンケースは、リモコン反応を確認のうえ、背面にある仮止め両面テープで仮止めをしてください。設置場所が決まりましたら、付属のネジを使用して設置してください。

※ 設置場所によってはリモコンケースに入れたまま操作しても、本製品は反応しないことがあります。



仮止め両面テープはくり紙をはがして貼り付けてください。

正しい使いかた

動作設定する

壁スイッチを切にする直前の状態が再現されます

本製品は一度リモコンで設定するとその状態を記憶し(実際は壁スイッチ切直前の状態)、その後壁スイッチでの電源の入/切で同じ状態で動作をするようになります。

1. 壁スイッチを入にする

購入後初めて接続した場合、LEDが点灯します。

2. LEDライトの調色・調光設定をする

リモコンの(LED電源)LED電源ボタンを押すとLEDが入になり、LEDが点灯します。

再度(LED電源)LED電源ボタンを押すとLEDが切になり消灯します。

・LEDライトを点灯させたときの、LEDライト部の設定をします(「LEDライト部の設定」8ページ)。

3. ファン部の送風/暖房/切と風量を設定をする

リモコンの(送風ON/OFF)送風ボタンまたは(暖房ON/OFF)暖房ボタンを押すとファンが入になり(運転ランプが青色(送風)または赤色(暖房)に点灯し)、送風を始めます(暖房ボタンの場合は温風が出ます)。

再度、(送風ON/OFF)送風ボタンまたは(暖房ON/OFF)暖房ボタンを押すとファンが切になり(運転ランプが消灯して)停止します(暖房の場合は、冷却のため、約10秒間送風を続けます)。

・ファンを回転させたときの、ファン部の設定をします(「ファン部の設定」8ページ)

4. 設定を終えたら、壁スイッチを一度、切にして、再度、入にする

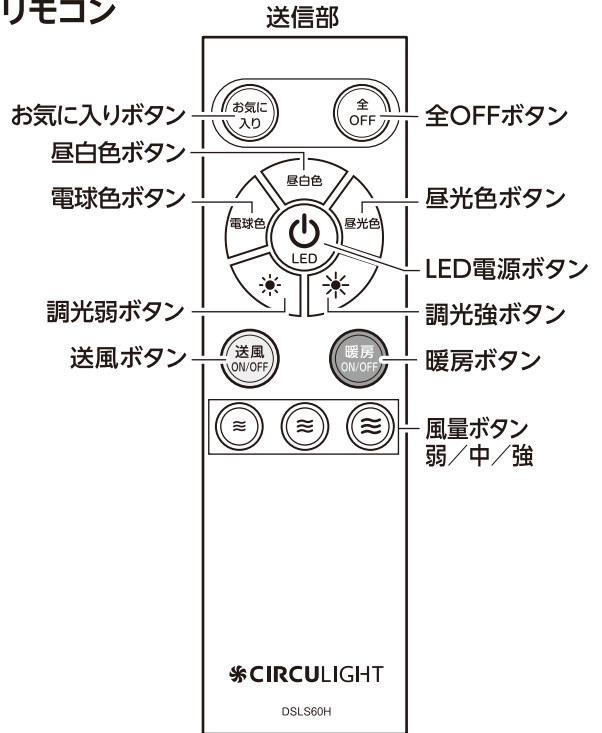
壁スイッチを切にして、消灯・動作停止してから、再度、壁スイッチを入にして、設定した内容(LEDの光の色、LEDの明るさ、ファン部の入/切、ファンの送風/暖房、ファンの風量)が記憶されているか確認してください。

※LEDの切の設定は記憶されません。LED切をする前の状態で点灯します。LED切を含めた入切動作は、壁スイッチを使用せず、リモコンの(お気に入り)お気に入りボタンと(全OFF)全OFFボタンで可能です。壁スイッチを切にする直前の状態が記憶されていることが確認できたら、そのまま使用ください。

ヒーター切り忘れ防止機能

最後に操作してから約30分が経過すると、ヒーターファンの回転が自動的に停止します。

リモコン



リモコン操作

リモコン操作は、リモコン送信部を本体LEDライト部にあるリモコン受光部に向けて操作する必要があります。



- ・本体LEDライト部から直線で約3m以内
- ・本体LEDライト部から左右に約30度以内


暖房機能使用時は、壁スイッチでの入/切をすると、電源が切れるため、暖房運転後の冷却運転ができません。

冷却運転をしなくても壊れることはありませんが、特に暖房機能を設定したときはリモコンでの入/切(お気に入り)お気に入りボタンでの「入」・(全OFF)全OFFボタンでの「切」をおすすめします。

正しい使いかた (つづき)

LEDライト部の設定

1.  LED電源ボタンを押して電源を入れ、各調色ボタン  電球色  昼白色  昼光色 でLEDの光の色を設定する

 LED電源ボタンを押して電源を入れると、前回到設定した調色・調光で点灯します。

 電球色ボタン: 落ち着いた色合いの電球色。

 昼白色ボタン: 自然な色合いの昼白色。

 昼光色ボタン: 爽やかな色合い昼光色。

2.  調光弱ボタン・ 調光強ボタンでLEDの明るさを設定する


各強弱2段階で設定することができます。

3.  LED電源ボタンまたは  全OFFボタンを押して電源を切る




ファン部の設定

送風運転


1.  送風ボタンを押して、ファンの送風を設定する

 送風ボタンを押して、送風運転を開始《入》します。

2. ファンの風量を設定する


 風量弱ボタン・ 風量中ボタン・ 風量強ボタンから風量を設定してください(風量: 3段階)。

3.  送風ボタンを押して、ファンの送風を停止させる

送風運転中に  送風ボタンを押すと、運転を停止《切》します。

暖房運転

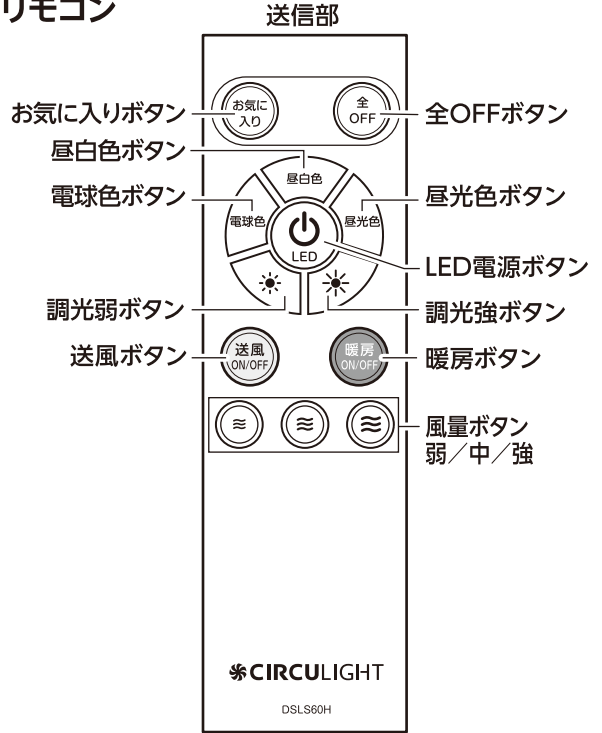
1.  暖房ボタンを押して、ファンの暖房を設定する

 暖房ボタンを押すと、ヒーターに電源が入り、ファン部から暖かい風が出る暖房運転を開始《入》します。


2. ファンの風量を設定する


 風量弱ボタン・ 風量中ボタン・ 風量強ボタンから風量を設定してください(風量: 3段階)。


リモコン



ダイレクト操作

 LED電源ボタンを押さなくても、リモコンの調光・調色それぞれのボタンを押すことで、LEDライトが点灯します。

例1)  昼光色ボタンを押せば、前回設定していた明るさの昼光色で点灯します。

例2) 切状態で  調光強ボタンを押せば、設定されていた調色で、明るさ強で点灯します。

暖房運転の送風温度

本機の暖房機能は、直下を局所的に暖めるためのものです。部屋全体を暖めるようなことはできません。

ヒーターはいつも同じ電力で運転しており、風量によって感じかたが変わります。


風量を「強」で使用する

風が多いため、温度が低く感じられます。

風量を「弱」で使用する

風が少ないため、温度が高く感じられます。

3. 暖房ボタンを押して、ファンの送風を停止させる

暖房運転中に  暖房ボタンを押すと、運転を停止《切》します。

暖房運転後の冷却運転

暖房運転を停止《切》させると、自動的に約10秒間の送風運転に切り替わり、本機を冷却します。

リモコンでの便利な使いかた

全OFFボタン

壁スイッチで電源を切にしたときと同じように、すべての動作を切にすることができます。

- 壁スイッチで電源を切にしたときと違って、暖房運転後の冷却運転をしてから電源を切るのので、本機にとってはやさしい電源の切りかたになります。

注意

長期間使用しないときは、壁スイッチで電源を切る。

 全OFFスイッチで電源を切ると、リモコンの待機のため待機電力を消費します。

お気に入りボタン

LEDライト部の設定・ファン部の設定を「お気に入り」として設定しておくことができます。

1. LEDライト部とファン部の設定をしてお気に入りにしたい状態にする

2. お気に入りボタンを長押しする

本体からピピピッとブザー音がしたら登録完了です。

吹出口の角度調節

本体自体を角度を付けることはできませんが、吹出口にある「風向ルーバー」で角度調節をすることができます。

警告

暖房運転中や暖房運転直後、風向ルーバーに触れない。

やけどの原因になります。

暖房運転時、おすすめの使いかた

暖房運転「切」時にヒーターの冷却運転をするために通常は壁スイッチを使用せずに

リモコンの

 お気に入りボタンで電源の入


 全OFFボタンで電源の切

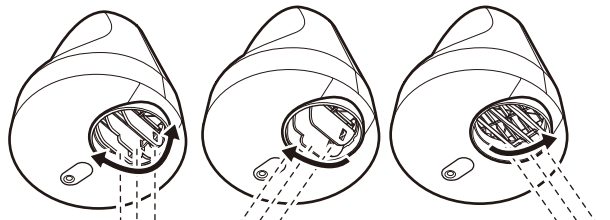
とすることをおすすめします。

- 本機にとってはやさしい電源の切りかたができます(暖房運転後の冷却運転をしてから電源を切ります)。
- 電源切(消灯)は「お気に入り」には設定できませんが、壁スイッチでの入/切では設定されません(壁スイッチで電源を入れると、必ずLEDライトが点灯します)。
- 反応する範囲内であれば自由な場所にリモコンを設置できます。

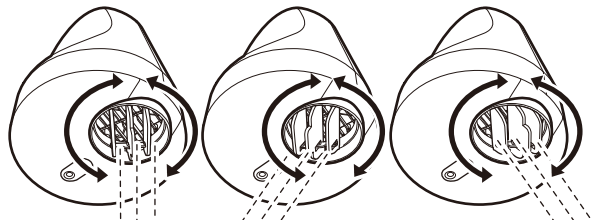
注意

長期間使用しないときは、壁スイッチで電源を切り、リモコンから電池を抜く。

-  全OFFスイッチで電源を切ると、リモコンの待機のため待機電力を消費します。
- 電池を入れたままにすると、液漏れの原因になります。



風向ルーバーを動かして風向きを変える



風向ルーバーを回転させて風向きを変える

お手入れと保存



お手入れの際は、必ず壁スイッチを切り、取り付け器具からはずす。
感電・火災・けがの原因になります。

お願い

- ・住宅用洗剤やシンナー、ベンジン、アルコール、磨き粉などは絶対に使わないでください。
- ・本体に水をかけて洗わないでください（感電・故障の原因になります）。

通常のお手入れ

吸気口カバーについたホコリは、すきま用ノズルなどを取り付けた掃除機などで取り除いてください。

お手入れ

本体の汚れは、ぬるま湯か食器用中性洗剤（柑橘系を除く）に浸して、かたくしぼった柔らかい布でふきとり、さらに乾いた布でやさしくからぶきをしてください（樹脂部分は強くこすらないでください。傷つきの原因となる場合があります）。

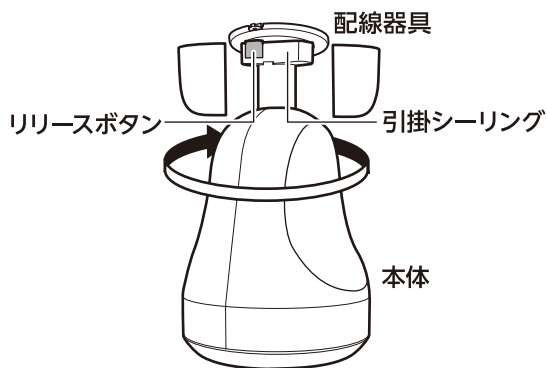
取り付け器具からの取りはずしかた

DSLH60HC(引掛シーリングモデル)

シーリングカバーを下げ、2つに分解して取りはずしてください。

引掛シーリングにある、リリースボタンを押しながら本体を左（反時計方向）に回して、配線器具から取りはずしてください。

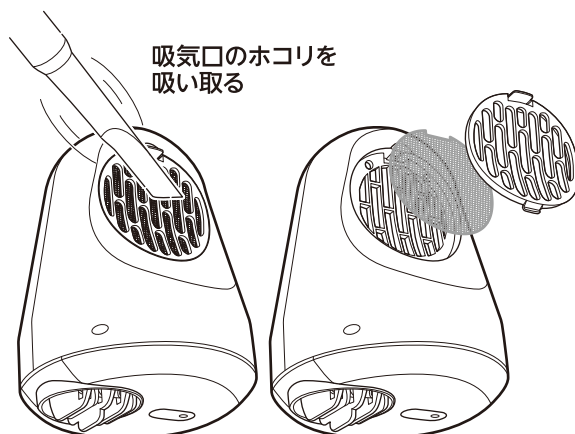
※回す方向は、下のLEDライト側から見た方向です。




定期的なお手入れ

吸気口は定期的にお手入れしてください

- 使用しているうちに風が弱くなった場合、吸気口に汚れが付着して、風量が低下している可能性があります。吸気口に付いたホコリを掃除機などで吸い、吸気口カバーをはずし、フィルターをきれいにしてください。汚れがひどい場合は、水洗いしてください。よく乾燥させてからご使用ください。
- 柔らかい布をぬるま湯か食器用中性洗剤（柑橘系を除く）に浸し、かたくしぼってからふきとり、さらに乾いた布でやさしくからぶきしてください。
- 樹脂部分は強くこすらないでください。傷つきの原因になります。



 警告	吸気口カバーを取り付けずに運転をしない。 事故・故障の原因になります。
--	--

保存のしかた

- 長期間（3か月以上）設定を変更せず、リモコンを使用しないときは、電池を取りはずしておいてください。
- 本体を取りはずして保存する場合は、お手入れをして、十分乾燥させてから、ホコリが付かないようにビニール袋などに入れて、湿気のない場所に保存してください。

修理・サービスを依頼する前に

取付について 取り付ける配線器具、壁スイッチが定格電流6A以上無い場合電気工事業者(有資格者)に対応する器具へお取り替えの依頼をしてください



警告 修理技術者以外の方は分解したり修理をしない。

「故障かな?」と思ったときには次の点をお調べください。

症状	主な原因	処置
点灯しない	電源(壁スイッチ)が「切」になっている	電源(壁スイッチなど)を「入」にする
	ブレーカーが「切」になっている	ブレーカーを「入」にする
	引掛シーリングが確実に取り付けられていない(DSLH60HC)	引掛シーリングを確実に取り付ける
ヒーターファンが突然停止した・止まっていた	運転開始後約30分時間経過して「切り忘れ防止機能」で停止した	リモコンの \odot 暖房ボタンを押す
異音がする	・吸気口カバーが正しく取り付けられていない ・シーリングカバーが正しく取り付けられていない	正しく取り付ける
	・引掛シーリングが正しく取り付けられていない(DSLH60HC)	正しく取り付ける
	本体の一部が周辺の物と接触して振動している	本体が他と接触しないようにする
LEDランプを消灯していたのに壁スイッチを入れると点灯する	正常動作です(壁スイッチで電源を入れると、LEDランプは必ず点灯する仕様になっています)	リモコンの \odot OFFボタンと \odot お気に入りボタンで電源入/切をする
リモコン操作しても動作の設定ができない(動作が変化しない)	リモコンの電池が切れている	新しい電池を入れる
	リモコンの電池が正しく入れられていない	正しく電池を入れなおす
	本体LEDライト部(受光部)に向けて操作していない	本体LEDライト部(受光部)に向けて操作する

長年ご使用の場合はよく点検を

このような症状はありませんか?

- ・電源を入れても点灯しない。
- ・チカチカしたり点滅する。
- ・こげ臭い匂いがする。
- ・その他の異常・故障がある。



このような症状のときは、事故防止のため、すぐに電源を切り、使用を中止してください。
製品の故障と考えられるため、販売店またはドウシシャお客様相談室にご相談ください。

製品についてのご相談に関しては…

ドウシシャお客様相談室

☎ 0120-104-481

【受付時間】 9:00~17:00 (祝日以外の月~金曜日)

ドウシシャ福井家電カスタマーセンター 〒915-0801 福井県越前市家久町41-1

※ 商品名、品番をご確認のうえ、お電話をいただきますようお願いいたします。

※ お電話をいただいたときにお話いただく情報は、お客様へのアフターサービスにおいて利用させていただきますので、ご了承ください。

商品に関する Q&A

お客様サポートセンター

<https://www.doshisha.co.jp/support/faq/lighting.html>



ドウシシャのパーツ購入は

ドウシシャマルシェ

DOSHISHA Marché
ONLINE STORE 公式オンラインストアで

<https://www.doshisha-marche.jp/>

